

秋子さん
と
いらっしょ

16

For
Adult Only

fol



何やってんだ
あいつ…

遅い

ん

ん

ん

ん



ですね

七年振り…

ザワ…



祐一さん…



あ、いえ
とんでもない

代理で
ごめんなさいね

名雪が遅くなるって
言うものですから…



えーと…

あれ？



覚えていただいで
ます？

私の名前…



あー
風邪ひきそう
でしたよ

それにしても
寒かった
でしょう？



違います♥

寧々さん



違います

はい
春夏さん

あー







アコ褒美♥



な...
何ですか？

たご
たご



ただいま

祐一きてる
七年振りだし

私の名前
おぼえてる
かな

07



そ...そんなっ
俺、もう高校生
ですよ!?

あら、
イヤでした？

や、イヤじゃ
ないですがっ

たご
たご



よ、花子

私、花子じゃ
ないよ



たご
たご



ああ
まあな

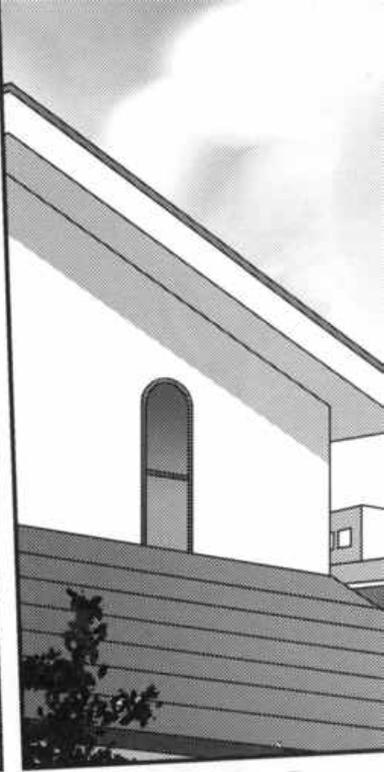
この街にはもう
慣れた？



おう
名雪か

祐一
♡

どうした



多くてな…

まだ色々
思い出せない
事が…

でも…



祐一が来てから
かなあ

それにしても
最近お母さん…
なんだか
やたら楽しそう

ちよっと
変わった



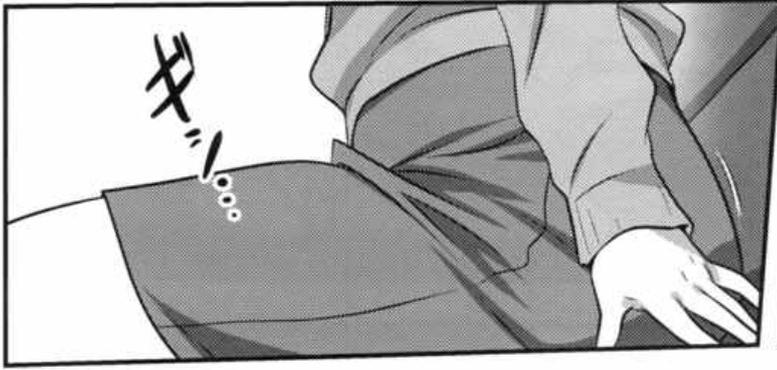
ああ
そうだな

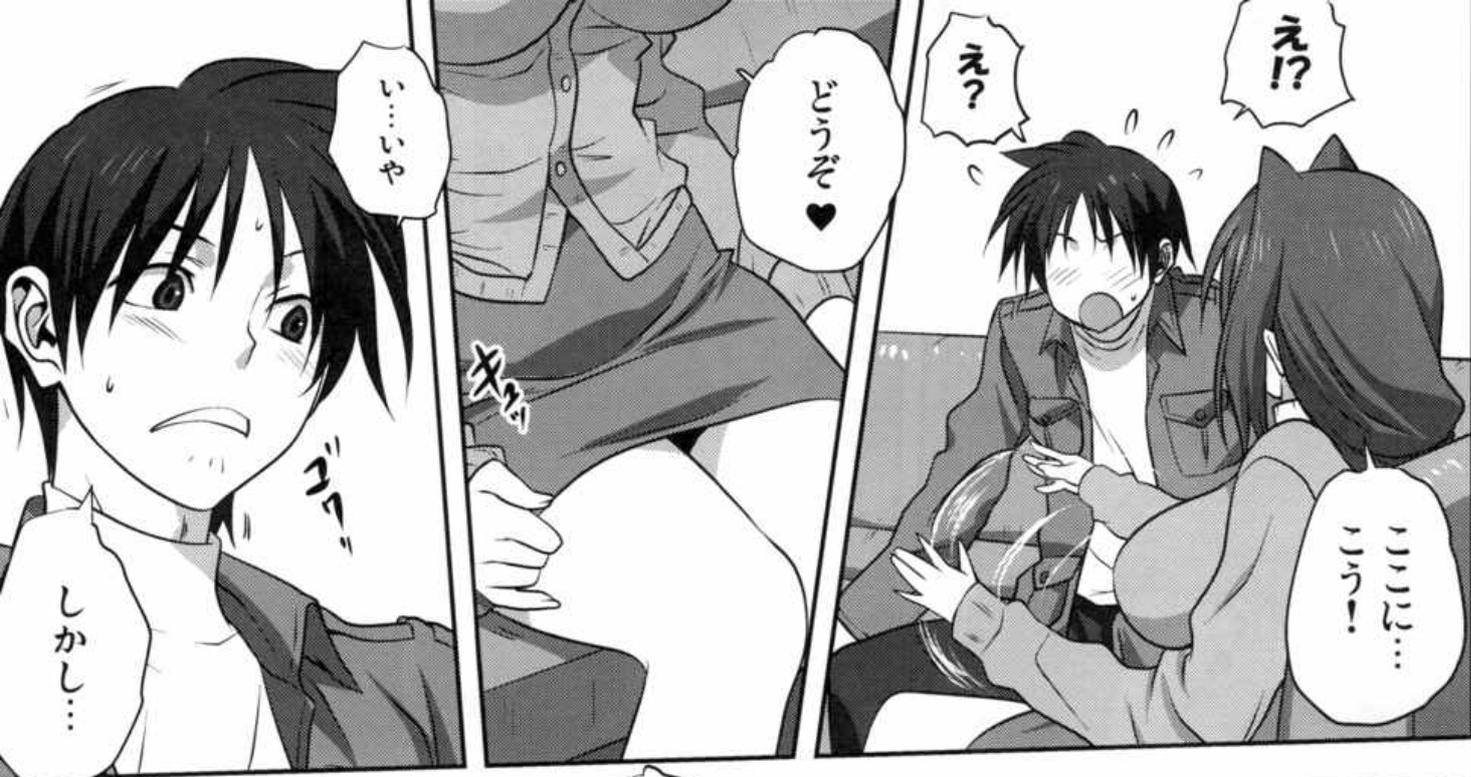
ファイト！
だよ！

私もついて
るよ！

それはおいおい
思い出せるよ









確かに
すげーご褒美だ…

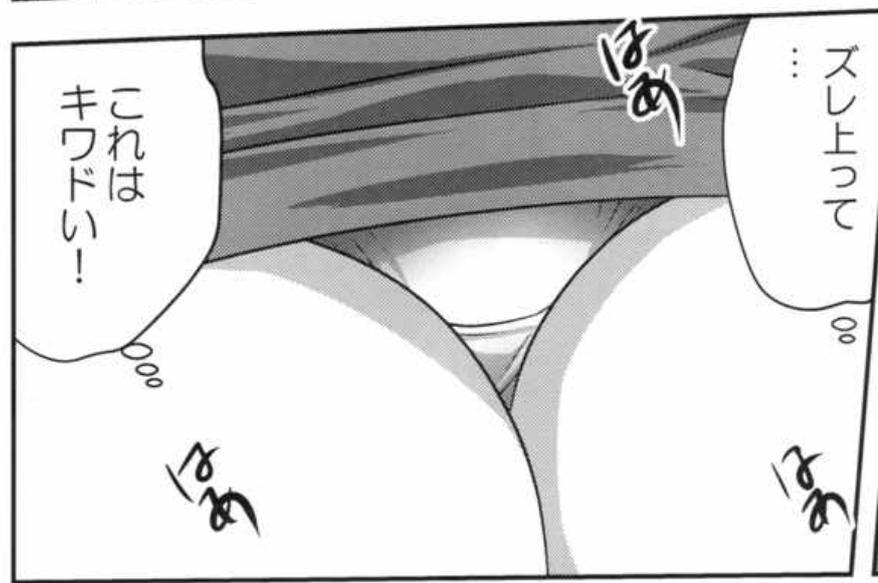
やほこ
勃ってきた



そして目の前には
おっぱい



すげーいい
匂い…



これは
キワドス！

ズレ上って



スカートが…



不承！

たっ



これもご褒美に
入りますか

ご…
ご褒美



アッ…

それからと
言うもの…

お母さんは
祐一に何かを
お願いする度に

ご褒美として
スキンシップを
はかっていた

一線を越える
ような事もないし
楽しそうだから
いいけど…

もし…

もしお母さんの
命に関わるような
事で…

祐一がそれを助け
たとしたら…
一体どんなご褒美に
なるの？





祐一!!



!



何、俺も
かすり傷だ

ちよっと足
ひねったが
なんともない



お母さん!!
何があったの!?!
さっきの車の
音...

え、ええ...
車が急に突っ込ん
できて...

祐一さんが
庇ってくれたから
私は無事だけど

祐一さん
が...



だ...大丈夫
なの?

ああ、ピンピン
してるぜ

車に逃げられ
たのが痛い
けどな!













これはまた…
何という…

へー…
ほー…

うわー…
す…
す…
すごい…

恥しい…

は…

目の前に…
秋子さんの
おっぱいが…
信じられない

ダメ…
恥しいからあ…

だ…

んっ!?

しゅん

しゅん



そんな
したら...

声でちやう...

乳首：
感じ易いんですね
秋子さん

いつもは
冷静沈着な
秋子さんから

こんな
喘ぎ声
出るなんて...



秋子さん…

俺…

もう
たまんねえっす…

はあ

はあ

はあ

スル

!!



や…流石に
これは…

まずいんじや
ないかしら

あは

や



!!



ダメっすか

だめって言うか…
あ…その…心の準備
が…

や





そ...
そんな...

ああっ



あ...っ
秋子さん...っ



うおっ

うっ...



あめ

あ



うっ
あっ



あ
あ



あ

あ

あ





んっ

うわわっ

うわ…



目と鼻の
先に…

あ…

これは
ご褒美…
なの…

ご褒美…



んっ

はみ



秋子さんの...

お〇ん...

ひ... あっ

あっ

だめ...

集中...
できない...っ

いっ

ちゅ...
ん

やっ

あっ



ん...

ぬ...
ほ...

ん...
ん...

ん...

ん...
ん...

ん...

ん...
ふ...
っ

ん...

う...
っ

あ...
っ

ん...
ん...

ん...
ん...

ん...
ん...

ん...



や…やっぱり
…その…
最後まで
しないと…
いけない
ですよ？

え？
あ…はい

さすがに
このままでは…
俺は蛇の生殺し
と言うか…

ご褒美どころか
お仕置きですよ
死んでしまいます！

そ、そうです
よね

それじゃ…

せめて…

目を閉じていて
下さい…

あ…挿入…

う…

アッ

アッ

ん…

は…

アッ

あ…

す…

祐…
さん…

あ…

や…

ん…



うあ…
秋子さん…

秋子さんの中…
すごい…っ!

あゝ

あゝ

ん

中で…暴れ
てる…っ!

ん

あゝ

あゝ

ん

あゝ

あゝ

ん



こんなの…

や…



そんな突き上げたら…

だめ…



あ…っ

や…



だめ…
だめえ…っ

あっ
や…っ



私への
ご褒美に
なっちゃう…っ

祐一さんが
上になったら…



あ…っ

あ…っ

や……っ
だめ……私……

激しい……

こんなの……
初めて……!!

あ……

あ……

え……えっちなんで
久しぶりだから……

もう……おかしく
なりそう……っ

お……俺
なんて……

秋子さんが
初めて
ですよ!

気持ち
良すぎて……

頭の中……
溶けそうです……

もう……



秋子
さん...

出...
てるよ...

だめよ...
ちゃんと...

外で
出して!!

出るっ!



あとがき

どーも、僕です。ここまで読んでいただき
ありがとうございます。

久しぶりの関係リセットで
二人の出会いのシーンから始めました。
やっぱり又の方がなんとなく描きやすいですね。
うづうづな二人もいいですが、
初めこのあのドキドキもいいものです。
次回はまだどうなるか分かりませんが
その時はまた宜しくお願いします。

しかし、これを描いてる最中に
まさか夏風邪にさらされるとは
思っても見ませんでした。
短時間の仮眠のつもりでエアコンの効いた部屋で
熟睡してしまったため、起きた時には喉に激痛。

その後は熱っぽく、頭が朦朧として
薬に頼りながら何とか描き上げました。
完成して本当に良かったです。

それをは、また次回お会いしましょう～

みたらし侯成



奥付

秋子さんといっしょ16

発行：みたらし倶楽部

発行者：みたらし侯成

発売日：2015.8.16

印刷所：太陽出版株式会社

Mail:m-kousei@rapid.ocn.ne.jp

HP:http://mitarashi-club.sakura.ne.jp/

Twitter:https://twitter.com/mitarashikousei

秋子さんといっしょ 16

みたらし倶楽部
PRESENTS